

ベル・データ 保守延長サービスのご紹介

ベル・データ株式会社



あと1年間だけ今の機器を使いたい、**メーカーから保守延長を断られてしまった。**

リプレイスのための予算調達が難しく、またその必要性もあまり感じられないため、
今使っているシステムを**できるだけ長く使い続けたい。**

保守切れでかつ故障個所があるが、**メーカーのスポット修理は高額**なので放置している。

同時期に購入した機器であっても、メーカーによって保守契約可能期間がまちまちなため、
システムのリプレイスタイミングが難しい。



「保守延長サービス（第3者保守）」という選択肢

- ✓ メーカーでの保守ができなくなったハードウェアを、メーカーに代わって延長保守/スポット修理
- ✓ お客様のニーズやご予算に合わせて、豊富な保守/修理メニューを用意
- ✓ ハードウェア障害時のお問合せ窓口を、ベル・データに一本化
- ✓ 国内・海外の様々なメーカーに対応（順次取り扱い拡大中）
- ✓ パートナーとの協業により、全国対応可能（離島除く）

Professional Service





ハードウェア保守サービス

- 平日9-17時 オンサイト保守サービス
- 24×365 オンサイト保守サービス
- パーツ保守（先出センドバック）サービス



スポット修理サービス

- 故障時の障害箇所特定から交換パーツ手配、修理までのワンストップ修理サービス
(修理対応までのリードタイムにご留意ください)



マルチベンダー保守ご契約ICT機器の撤去サービス（引取サービス）

- ご契約終了時、不要となったICT機器を、技術者が安全に撤去
 - 撤去したICT機器は、専用の集約ヤードにて適切に処理
 - セキュリティ管理された専用フロアで安全にデータ消去を実施
- ※オプション：協業パートナーによる証明書発行、ディスク破碎・ディスク消磁、オンサイト作業



オプションサービス（障害時の運用フローに応じて、保守パーツの供給方法をカスタマイズ可能）

➤ サイトスペアサービス

お客様ご自身で保守部材を管理保管いただけるサービスです。機器設置場所など保管場所を指定でき、障害発生時の配送待ち時間をカット。再交換パーツの補充は、パーツ消費後、一定のリードタイムで行われます。

➤ ハードディスク返却不要サービス（HDD情報漏洩防止）

データが残存する交換後のハードディスクを返却することなく、お客様で保持することができ、お客様既定の機密情報の取扱いでHDDを処分できます。フィールドエンジニアは作業後、故障ディスクを管理エリアから持ち出し致しません。

➤ HDD破砕サービス

HDD/SSD 等を交換終了後に協業パートナーにて破砕し、破砕証明書をご提出するサービスです。

➤ ネットワーク機器の保守部材・対応について

ネットワーク機器の保守については、お客様からの組み込みソフトウェア（FW）のバージョン合わせの実施、コンフィグ情報の投入の要否に対応した保守パーツの種類、対応方法をご選択いただく事になります。

メーカー別 保守対応機種マップ



NEC製品

(Express5800、NX7700i、SIGMABLADE、iStorage、UNIVERGEシリーズ 他)

富士通製品

(PRIMERGY、PRIMEQUEST、PRIMEPOWER、SPARC Enterprise、ETERNUSシリーズ 他)

HewlettPackard Enterprise製品

(ProLiant、HP9000、Integrity、StorageWorks、3PAR StoreServ、Procurveシリーズ 他)

DELL製品

(PowerEdge、PowerVault、PowerConnect、EqualLogic 他)

IBM製品 (LENOVO製品を含む)

(System x、FlexSystem、DSシリーズ、Nシリーズ、Storwize Vシリーズ、TSシリーズ 他)

HITACHI 製品

(HA8000、HA8500、SANRISE、HUS、AMS、BR、Apresia各シリーズ 他)

ORACLE製品 (旧 Sun製品を含む)

(SunFire、SPARC Enterprise、Netra、Tシリーズ、StorageTek 他)

CISCO製品

(Catalystスイッチ、Nexus、ISRルーター、ASR、ASA 各シリーズ 他)

Juniper製品

(NetScreen、SSGシリーズ、EX、MX、SRX 他)

F5ネットワークス製品

(ロードバランサ BIG-IPシリーズ)

BROCADE 製品

(VDX、SilkWormシリーズ ※日本メーカーブランドにてOEM機器も含む)

EMC製品

(CLARiX CXシリーズ、VNXシリーズ、Data Domain 他)

NetApp製品

(FAS2000シリーズ、3000シリーズ、6000シリーズ 他)

その他製品は個別対応

課題	課題の背景	これまでの対応策	ベル・データの解決策
クラウドへの移行時の課題	クラウドへの移行が予想以上の期間になり、既存ハードウェアが保守切れしてしまう恐れ	・ 予備機購入等で賄う ・ 保守切れを起こしたまま続行する	移行期間の延長中、メーカー同様の機器延長保守サービスを提供
メーカー保守対応に関する課題	メーカーから延長保守は「部材のある限り」と言われた	メーカーから割高な部材を買い取って、自社で保管	お客様ご希望の延長稼働期間に対応した機器延長保守サービスを提供
延長保守コスト削減の課題	メーカーの延長保守料金が割高である	メーカーの提示額に応じざるを得ない	メーカー保守料金の3~5割以上のコスト削減案を提示できる場合あり
メーカー保守期間では入札仕様に对应できない課題	メーカー保守可能期間を超えて利用することが、入札仕様に記載されている	新品の予備機を入札額に上乗せして、予め購入しておく	当社の延長保守サービス利用を前提に、競争力のある入札額を設定可能

ご活用参考例： 保守終了日の延長揃え

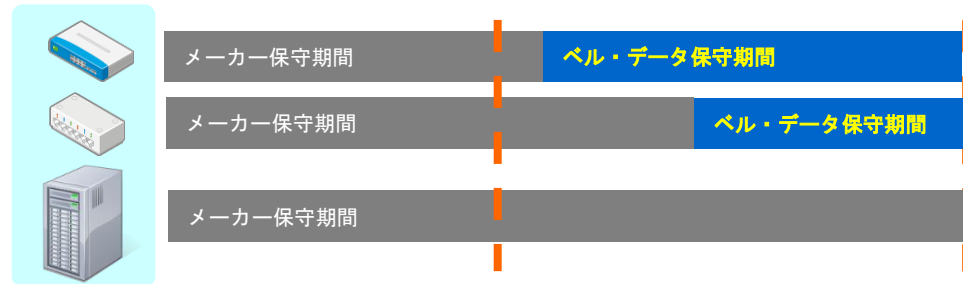
本番環境



同一システム内で保守終了日の異なる機器に対して
保守期間を調整して「延長揃え」を行うことで、
新システムへの移行を円滑に行えます。

伸ばして後ろに
揃える

開発環境

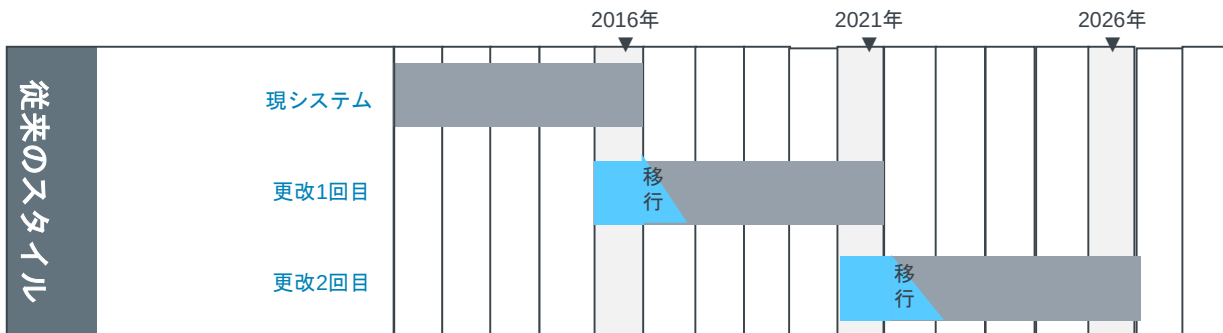


システム間も
揃える

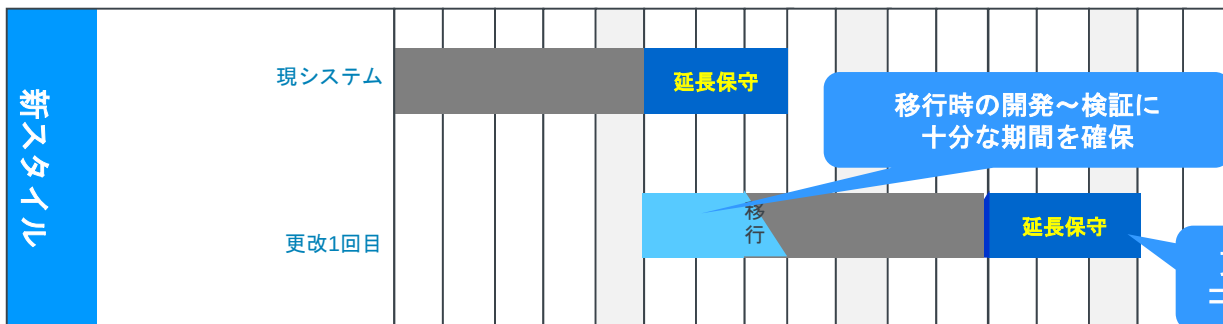


新システム

ご活用参考例： 5年おきのリプレースからの脱却



延長保守の活用によりリプレースのスパンを長く設定することで、システム更改の回数を減らすことが可能です。



移行時の開発～検証に十分な期間を確保

更改1回分をスキップでき、コストと人的負担を大幅に軽減

メーカー保守

ベル・データ保守

- ・ 見積ご依頼時には、下記情報のご提示をお願いいたします。

- 対象機器の型番
- 型番ごとの台数
- 保守レベル
 - a) オンサイト保守 平日9-17
 - b) オンサイト保守24x365
 - c) パーツ保守 （※障害切り分け、修理はお客様作業になります。）
 - d) オプションサービスの要不要
- 延長保守期間
- 設置場所情報
- 機器構成情報（搭載パーツとその数量が分かる資料）

ありがとうございました。

